

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

たしかなテクノロジーで「信じられる社会」を築く。安心・安全な社会基盤を構築し、人々が互いを支え合える社会を実現する。

売上高
600億円営業利益
40億円ROE
15%

② 中長期の経営戦略

1. セキュリティサービスへのAI活用

JSOCや診断などで培ったノウハウと脅威データをAI分析・自動化し生産性向上。巧妙化する攻撃への新分析手段開発と費用対効果の高い新サービス開発。

3. セキュリティツール獲得

脅威情報と連携したセキュリティツール獲得推進。自社開発に加えM&A・戦略的提携も検討。中堅・中小企業市場への展開も視野。

2. 統合セキュリティプラットフォーム構築

各種セキュリティサービスのデータ分析基盤を統合し、サイバーリスクを一元的に可視化・管理。ネットワークや端末に分断されたリスクの統合対応。

4. 既存事業の付加価値向上

セキュリティサービス・開発サービスを軸とした既存事業を継続的に成長させ、付加価値・生産性の非連続な成長を実現。

③ 対処すべき課題

① 深刻化するサイバー脅威への対応

- ・複雑化・高度化する攻撃への対抗体制強化
- ・約30年の現場経験知見（インテリジェンス）の活用
- ・自動化・AIを駆使した対応力強化

② デジタル社会への急速な適応

- ・多様で広範囲に深化するデジタル活用への対応
- ・サプライチェーン全体のレジリエンス継続性確保
- ・安全保障上の要求への対応

③ 市場への費用対効果の高いサービス提供

- ・大手企業だけでなく中小企業向けサービス対応
- ・生産性向上による新サービス開発
- ・インテリジェンスの洗練によるサービス高度化

面接で使えるポイント

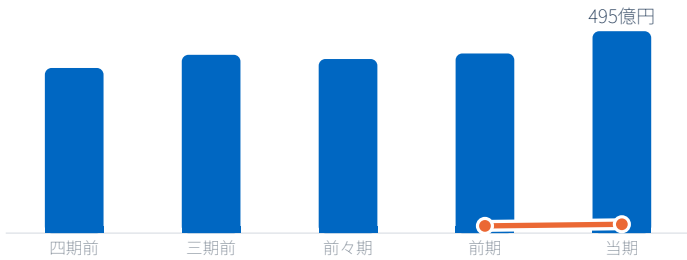
- ・約30年磨き続けた現場経験知見でサイバーセキュリティのパイオニアとして業界をリード。
- ・AI×セキュリティや統合プラットフォームで、複雑化する脅威に自動化・高度化で対応。
- ・ROE15%目標を掲げ、セキュリティツール獲得含むM&Aで成長・進化を推進。

株式会社ラック

情報・通信業 | 非上場（有報提出会社） | 決算期 3月31日…

EDINETコード E05720

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
495億円

営業利益率
4.4%

財務健康度
55点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 57.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
667万円

平均年齢
40.6歳

平均勤続
12.0年

女性管理職
12.2%

男性育休
57.1%

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

株式会社ラック 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyo-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

